



© Jürgen Olczyk / Sophie Scholl



©Kimoon Film



©東宝



©2012 NEXT ENTERTAINMENT WORLD Pte. & PNEWORKS Co. Ltd. All Rights Reserved.



©1956 松竹株式会社



©東海テレビ

第6回死刑映画週間 2017年2月18日(土)~2月24日(金)

生きるという権利

映画+監督+制作年+語る人 (一回限り、裏面参照)

『袴田巖 夢の間の世の中』
(金聖雄 2016) × 福島泰樹

『白バラの祈り ゴッティ・シヨル最期の日々』
(マルク・ローテムント 2005) × 福島みずほ

『M』
(フリッツ・ラング 1931)

『壁あつき部屋』
(小林正樹 1956) × うじきつよし

『首』
(森谷司郎 1968) × 安田好弘

『死刑弁護人』
(齋藤潤一 2012) × 樹木希林

『独裁者と小さな孫』
(モフセン・マフマルバフ 2014) × 安田菜津紀

『7番房の奇跡』
(イ・ファンギョン 2013) × 朴慶南

不幸にも人を殺める犯罪が起こった場合、犠牲者は「生きるという権利」を理不尽にも奪われたことになる。死刑制度があると、加害者は国家の名のもとに処刑され、ここでも「生きるという権利」が奪われる。いま、世界中に、〈排外〉と〈不寛容〉な声が、不気味な広がりを見せている。この声が大きくなればなるほど、「生きるという権利」を奪われる人が、あちらこちらで増えていく。いまこそ立ち止まって、「自分の」生きるという権利のことを「他人の」生きるという権利のことをじっくりと考える機会をもちたい。

第6回 死刑映画週間 **生きるという権利** 上映作品

A 『袴田巖 夢の間の世の中』



2月18日(土) 11:00
2月20日(月) 19:00
2月23日(木) 13:30

©Kimoon Film

監督=金聖雄

2016年 日本 119分 BD プロデューサー=陣内直行 撮影=池田俊巳 出演=袴田巖 袴田秀子

【物語】1966年清水市(現在は静岡市)で起きた味噌会社専務一家4人殺人事件の犯人とされた袴田巖さん。裁判では一貫して無実を訴えたが、1980年最高裁で死刑が確定。1981年以来、再審を求め続け、遂に2014年3月27日、静岡地裁は再審開始を決定し釈放した。釈放後の袴田さんと姉の日々の生活を描いて、冤罪の恐ろしさを静かに訴える。袴田さんの獄中書簡の言葉からの引用がたびたびなされる。詩的な響きをもつその言葉は、観る者の胸を衝く。

B 『白バラの祈り ゴッフリー・ショル 最期の日々』



2月18日(土) 13:30
2月20日(月) 13:30
2月21日(火) 19:00
2月23日(木) 11:00

©Jürgen Olczyk / Sophie Scholl

監督=マルク・ローテムント

2005年 ドイツ 120分 35mm 脚本=ブライナス・ドゥファー 出演=ユリア・イェンチ ファビアン・ヒンリヒス アレクサンダー・ヘルト アンドレ・ヘンニッケ

【物語】2005年 ベルリン国際映画祭で最優秀監督賞と最優秀女優賞を受賞した、史実に基づくドラマ。近年新たに発見された尋問記録や関係者の証言をもとに、反ナチス運動を展開したゴッフリー・ショルの最後の姿を描く。1943年、反政府組織「白バラ」のメンバーであるゴッフリーは、兄たちとともに大学構内で反戦ビラを配っていたところを逮捕される。厳しい尋問に屈せず信念を貫く彼女に、尋問官モアアはある取引を提案するが……。

C 『M』



2月18日(土) 16:30
2月21日(火) 13:30
2月23日(木) 16:30

監督・脚本=フリッツ・ラング

1931年 ドイツ 117分 35mm 脚本=テア・フォン・ハルボウ 撮影=フリッツ・アグノ・ヴァグナー 出演=ピーター・ローレ オットー・ベルニッケ

【物語】1930年代のベルリンで、幼い少女ばかりを狙った連続殺人事件が発生する。警察の捜査にもかかわらず犯人逮捕のめだはたさない。社会的狂騒状態の中で一般市民から暗黒街の者たちまでが一丸となって犯人逮捕へ向かう。サイコスリラーの元祖と称される映画だ。危機管理で一体化する社会、犯罪者の排斥、民衆裁判、死刑を問う作品だ。今回は、英語字幕付きのキネコ版35mmフィルムで上映。

D 『壁あつき部屋』



2月18日(土) 19:00
2月21日(火) 16:30
2月22日(水) 11:00
2月24日(金) 13:30

©1956 松竹株式会社

監督=小林正樹

1956年 日本 110分 35mm 原作=『壁あつき部屋—BC級戦犯の人生記』 脚本=安部公房 撮影=楠田浩之 音楽=木下忠司 出演=浜田寅彦 三島耕 岸恵子 信欣三 内田良平 伊藤雄之助 下元勉

【物語】第2次大戦敗戦後に巣鴨プリズンに収監されていたBC級戦犯の手記『壁あつき部屋』を映画化。巣鴨在所者の一人山下は、南方で上官の命令で原住民を殺害し、その上官の密告で重労働終身刑の刑を受けた。横田は戦時中米俘虜収容所の通訳だっただけで巣鴨に入れられた。朝鮮人の許も、神経質な山下も戦犯の刻印をおされた犠牲者の一人にすぎなかった。彼らがいる所には、あついで壁だけが存在していた。

E 『首』



2月19日(日) 11:00
2月20日(月) 16:30
2月22日(水) 13:30
2月24日(金) 19:00

©東宝

監督=森谷司郎

1968年 日本 100分 35mm 原作=正木ひろし「弁護士」 脚本=橋本忍 音楽=佐藤勝 撮影=中井朝一 出演=小林桂樹 古川桂治 鈴木良俊 南風洋子 下川辰平

【物語】1944年戦時中の冬、一人の鍼夫が警察で死んだ。弁護士の正木が遺族から、拷問が原因の死亡ではないかと調査を依頼される。死亡診断書には、死因が動脈硬化性脳出血とあるのを怪しんだが、警察や検事は死体を見せようとしなかった。正木は、すでに埋葬されている死体を掘り起こし……。正木ひろし弁護士が手がけた事件の映画化。

F 『死刑弁護人』



2月19日(日) 13:15
2月21日(火) 11:00
2月24日(金) 16:30

©東海テレビ

監督=齋藤潤一

2012年 日本 97分 BD プロデューサー=阿武野勝彦 撮影=岩井彰彦 音楽=村井秀清 ナレーション=山本太郎 出演=安田好弘

【物語】オウム真理教事件の麻原彰晃、和歌山毒カレー事件の林真須美など、数々の死刑事件を担当してきた弁護士・安田好弘を追った東海テレビ製作のドキュメンタリー。凶悪事件の犯人とされる人たちの弁護士として激しいパッシングにさらされても、彼らのために奔走するのはなぜなのか? これまで手掛けてきた事件を安田本人の言葉で振り返りながら、その原動力、司法のあり方、犯罪が生まれる背景などを浮き彫りにする。

G 『独裁者と小さな孫』



2月19日(日) 16:30
2月20日(月) 11:00
2月22日(水) 16:30
2月23日(木) 19:00

監督・脚本=モフセン・マフマルバフ

2014年 ジョージア・イギリス・フランス・ドイツ 119分 DCP 出演=ミシャ・ゴミアジュヴィリ ダチ・オルウエラジュヴィリ ラ・スキタジュヴィリ グジャ・ブルデリ ブラ・ベガリジュヴィリ

【物語】独裁政権が支配する国でクーデターが起きた。これまで国民から搾取した金で贅沢な暮らしを送り、政権維持のため多くの罪なき人々を処刑してきた老齢の独裁者は、幼い孫と共に逃亡生活を余儀なくされる。羊飼いや旅芸人に変装して正体を隠しつつ海を目指す。独裁者を倒しても憎しみの連鎖は終わらない。

H 『7番房の奇跡』



2月19日(日) 19:00
2月22日(水) 11:00
2月24日(金) 11:00

©2012 NEXT ENTERTAINMENT WORLD Inc. & FINEWORKS Co., Ltd. All Rights Reserved.

監督・脚本=イ・ファンギョン

2013年 韓国 127分 DCP 脚本=キム・ファンソン キム・ヨンソク 出演=リュ・スニョン バク・シネ カル・ソウォン

【物語】知的年齢が6歳くらいしかない主人公は、しっかり者の6歳の娘と暮らしていたが、たまたま道に倒れている少女と二人でいるところを目撃され、殺人罪で逮捕され死刑判決を受ける。娘と離れ離れになり寂しさを募らせ、7番房の囚人たちの助けを借りて、娘を無事房内に潜入させて再会するのだが……。仲のいい父娘を襲う悲劇と、その後刑務所内で起きる思いがけない奇跡を描いていく。

◆各回入替制

*一部の作品の画・音に不備がある場合もありますので、ご了承ください。
*やむを得ない事情により作品および上映時間が変更される場合がございます。

18日(土)	19日(日)	20日(月)	21日(火)	22日(水)	23日(木)	24日(金)
A 11:00	E 11:00	G 11:00	F 11:00	D 11:00	B 11:00	H 11:00
B 13:30	F 13:15	B 13:30	C 13:30	E 13:30	A 13:30	D 13:30
C 16:30	トーク 15:00	E 16:30	D 16:30	G 16:30	C 16:30	F 16:30
D 19:00	樹木希林	A 19:00	B 19:00	H 19:00	G 19:00	E 19:00
トーク 21:00	G 16:30	トーク 21:00 ~				
うじきつよし	H 19:00	福島泰樹	福島みずほ	朴慶南	安田菜津紀	安田好弘

ゲスト紹介: うじきつよし=歌手/樹木希林=俳優/福島泰樹=歌手、絶叫ミュージシャン/
福島みずほ=国会議員/朴慶南=作家、エッセイスト/安田菜津紀=フォト・ジャーナリスト/
安田好弘=弁護士

協力: アダムソニア/カルチュア・エンタテインメント/コムストック・グループ/松竹/シンカ/東海テレビ/東宝/Kimoon Films/NEXT ENTERTAINMENT WORLD Inc & FINEWORKS Co.Ltd

入場料金

一般1,500円/大学・専門学校生1,300円/シニア1,100円
会員1,100円/高校生800円
前売券 5回券4,500円/3回券2,800円/1回券1,000円

ユロスペース

渋谷区円山町1-5 (渋谷・文化村前交差点左折) TEL. 03-3461-0211
<http://www.eurospace.co.jp/>

